

インフルエンザが流行しています。



- ✓ 全国的に大流行しています。
- ✓ 新型コロナ流行をはさんで、**数年ぶりの大流行**です。
- ✓ 過去の流行時期より、流行の波が**2ヶ月ほど早く**なっています。（例年は年末ごろに大流行）
- ✓ 全国的な大流行により、**インフルエンザの検査用キット・解熱鎮痛薬・咳止め薬が不足**しています。
- ✓ 隠岐病院でも入荷が困難な状況が続いており、必要十分量の処方できません。
- ✓ 入院中の患者様にも「**必要な薬の代替薬**」で対応しなければいけない場合があります。

インフルエンザかな？と思ったら。



- ✓ **インフルエンザが疑われる症状**
急な発熱（平熱より1℃以上高い）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の全身症状が急に出る。
- ✓ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- ✓ 咳やくしゃみ等の症状のある時は、家族や周りの方へうつさないように、飛沫感染対策としての咳エチケットを徹底しましょう。（マスクを正しく着けましょう）



（鼻が出ている）



（アゴが出ている）



（マスクを触る）

インフルエンザかな？と思ったら。



- ✓ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
(症状が強くなるのは数日です。その時期は無理をせずゆっくり休みましょう)
- ✓ 水分を十分に補給しましょう。お茶でもスープでも飲みたいもので結構です。
- ✓ 高熱が続く(2~3日たっても下がらない)、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど具合が悪ければ医療機関を受診しましょう。
- ✓ 小児、未成年者では、インフルエンザにかかったことにより、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと歩き回る等の異常行動を起こすことがあります。(一人にしないように注意し、観察を密にしましょう)
- ✓ 高齢の方(65歳以上)で、基礎疾患がある方は、重症化することがあります。かかりつけ医に相談しましょう。

厚生労働省 インフルエンザ総合HPより

➤ 隠岐病院での対応とお願い

- ① インフルエンザの方と接触があった方は、**インフルエンザとみなして**対応させていただきます。
【インフルエンザの方と接触の例】(過去1週間以内)
 - ・ 同居の家族がインフルエンザと診断された
 - ・ 職場の同じ場所で働く方がインフルエンザと診断された
 - ・ お子さんが通っている保育所・学校で流行している
 - ・ 会食・宴会を伴にした方がインフルエンザと診断された等
- ② 上記の場合は、**医師が必要と認めた場合を除き、キットでの検査は行いません。**
- ③ 処方是最小限の量とさせていただきます。
- ④ **解熱鎮痛薬を常備していただき、症状が出た場合は服用し症状が緩和するか観察してください。**
- ⑤ 検査が必要な場合でも、症状が出た直後は反応が出ません。
(偽陰性)
12時間程度たってからの受診をご検討ください。

➤ 隠岐病院での対応とお願い

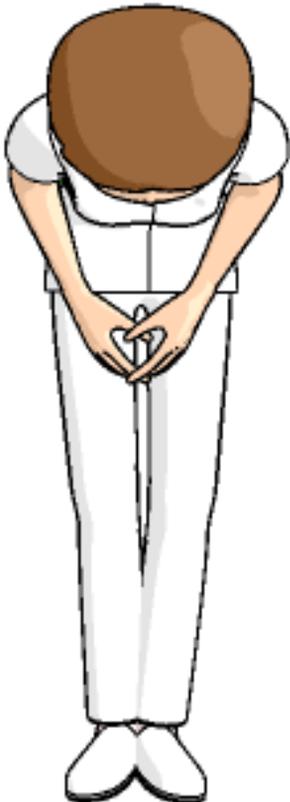
(インフルエンザを含む感染症疑いの方全般)

- ⑥ 時間外の救急外来では対応困難な場合があります。できるだけ平日日中の受診をお願いします。
- ⑦ 感染症外来（発熱等のある方の外来）は、午前と午後に時間を指定させていただいております。
- ⑧ 発熱や咽頭痛、咳などの症状がある方は、直接外来受診はできません。一度感染症外来を受診していただいたからの診察になりますので、時間に余裕をもってご来院ください。
- ⑨ 発熱や咽頭痛、咳などの症状で受診を希望される方は、事前にお電話でご相談ください。
 - ✓ 他の方への感染予防と、待ち時間を少なくするため、来院いただく時間を調整させていただきます。

ご不明な点は

隠岐病院 ☎ 2-1356

までお問い合わせください。



ご不便をおかけし、
大変申し訳ございません。

- 限りある医療資源活用
のため
- 救急対応等医療機能維
持のため

島民の皆様

のご理解とご協力を

お願いいたします。